

現在、行われている「平成30年第3回東京都議会定例会」の一般質問（9月27日）において、本校高等部就業技術科の成果等についての質疑がありました。

すでに東京都議会の会議録〔速報版〕が公表されておりますが、転載して御紹介します。

答弁に立った教育長から、本校の教育を最大級に評価していただいたと感じております。このことを肝に銘じ、さらなる教育の充実に努めてまいります。

なお、冒頭、質問をした都議から、昨年度の熱中症事故のことが触れられ、改めてあの事故の大きさを認識させられました。この発言も含めて転載しておりますので、御承知おきください。

### 平成30年第3回東京都議会定例会 一般質問（9月27日）会議録〔速報版〕

#### ○上田令子議員（かがやけ Tokyo）

昨年、不適切な部活指導により生徒が意識不明となる事故が発生した永福学園では、体罰根絶宣言がなされました。同校は、全都に先駆けて、就業技術科が2008年に開設されました。どのように3年間の過程を経て、障害者自身が生きがいを持って輝ける社会参加につながったのか、職場定着率を踏まえたその成果と課題を問います。

#### ○中井教育長答弁

都立永福学園就業技術科についてでございますが、就業技術科は、実践的な職業教育を通して、生徒全員の企業就労を目指している職業学科でございます。

永福学園では、これまでビル清掃や福祉等の職業コースを設置し、民間技術者による実習を行うなどして、他の就業技術科を牽引してまいりました。

また、開校以来の就労率の平均は95%であり、就労した卒業生の9割が現在も就労を継続しているという状況にございまして、社会一般の状況から見ますと非常に高い水準にございます。

卒業生からは、経験を重ねるにつれ責任ある仕事を任され、やりがいを感じているといった声が聞かれております。

今後とも、永福学園を初め、就業技術科設置校において、生徒全員の企業就労及び職場定着率を向上させることができるよう、企業等と連携しながら、生徒の社会的、職業的自立に向けた資質、能力の向上を図ってまいります。